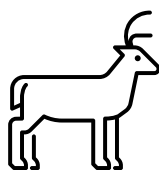
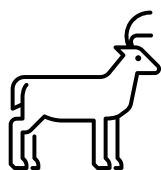
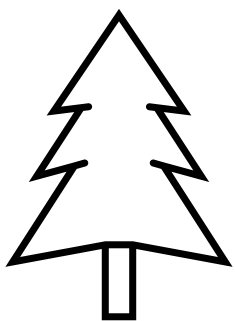


シカ捕獲マニュアル【設置編】



四国森林管理局 安芸森林管理署



2025年1月

はじめに

このマニュアルは、経験豊富な局職員の捕獲技術を継承すべく作成したもので、くくり罠での捕獲について焦点を当てています。初心者（今までシカ捕獲をしたことのない林野庁職員）の方でもわかりやすいようにくくり罠の仕組みから、仕掛ける際のコツまで詳しく書いています。このマニュアルをシカ捕獲の参考にいただければ幸いです。

くくり罠で捕獲する方法としては、大別すると獣道に仕掛ける方法と餌で誘引する方法があります。このマニュアルでは獣道に仕掛ける方法について紹介しています。

※このマニュアルは林野庁職員を対象に作成しています。

研修を受けた上で法令とルールを守って捕獲してください。



目次

1. 使用する罠
2. 各部品の名称
3. 捕獲の流れ
4. 罠の設置場所
5. 設置場所の参考例
6. 罠の仕掛け方（笠松式）
7. 罠を仕掛ける際のコツ 8 選



1. 使用する罠

跳ね上げ式の罠

踏み板を動物が踏むことで、ワイヤーゲートが跳ね上がりワイヤーが上に誘導され、同時にバネの力によって足がワイヤーに締めつけられる構造

ワイヤーゲート



罠を踏むと、このように締めつけられる

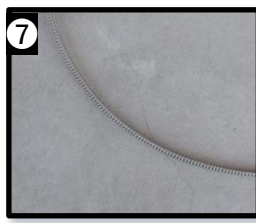
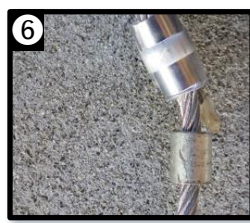
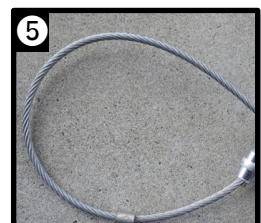
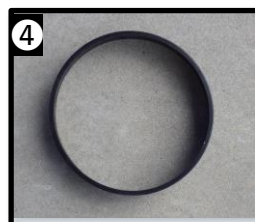
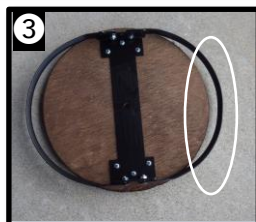
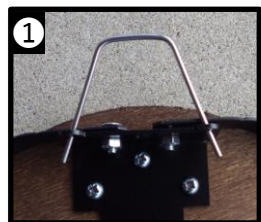
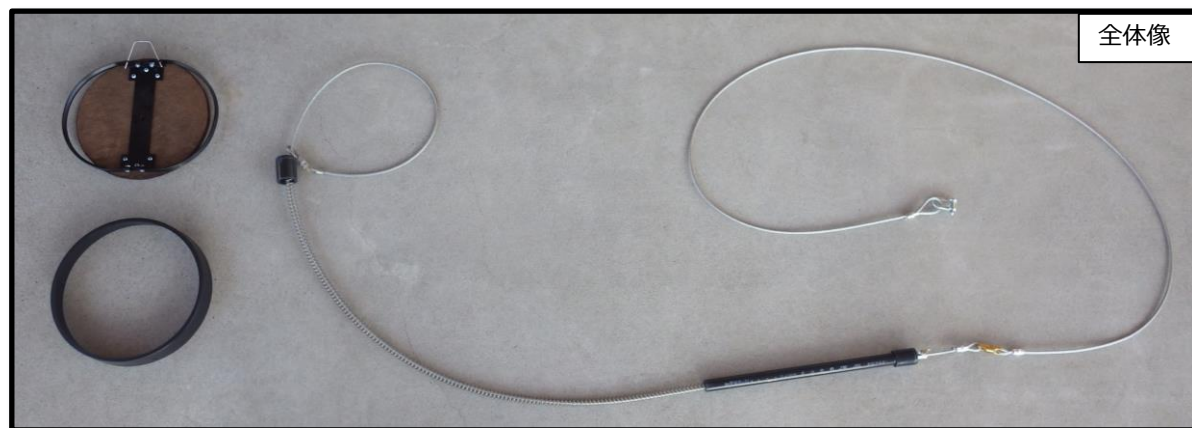


※上の写真は跳ね上げ式の罠の一つである（笠松式）
設置しやすく、捕獲率が高いためこのマニュアルでは笠松式を使用



笠松式の罠にかかったシカ

2. 各部品の名称



- ①安全ピン・・・・・・・・・・罠の誤作動を防ぐ
- ②踏み板・・・・・・・・・・獲物が踏むと罠が作動
- ③ワイヤーゲート・・・・・・・・写真の金属部分で、くくりワイヤーをかける溝がある
- ④落としパイプ・・・・・・・・掘った穴に設置するパイプ
- ⑤くくりワイヤー・・・・・・・・獲物の足をくくる
- ⑥締め付け防止金具・・・・・・・・過度な締め付けを防ぐ
- ⑦バネ・・・・・・・・バネの力でくくりワイヤーが締まる
- ⑧パイプ・・・・・・・・バネが中に入る
- ⑨蝶ネジ・・・・・・・・パイプの中に入ったバネを固定する
- ⑩よりもどし・・・・・・・・ワイヤーのよじれ防止
- ⑪シャックル・・・・・・・・ワイヤーを木や木の根に固定する際に使用

3. 捕獲の流れ

① 罠の設置場所選び



② 罠の設置



③ 見回り



④ 捕獲・止めさし



⑤ 埋設



... 罠



... 獣道

4. 罠の設置場所

◎ くくり罠の設置に適した場所



・新しいシカの足跡がある



・新鮮なシカの糞がある



・シカの採食痕がある



・見回りがしやすい



・くくり罠を固定する木や根などがある

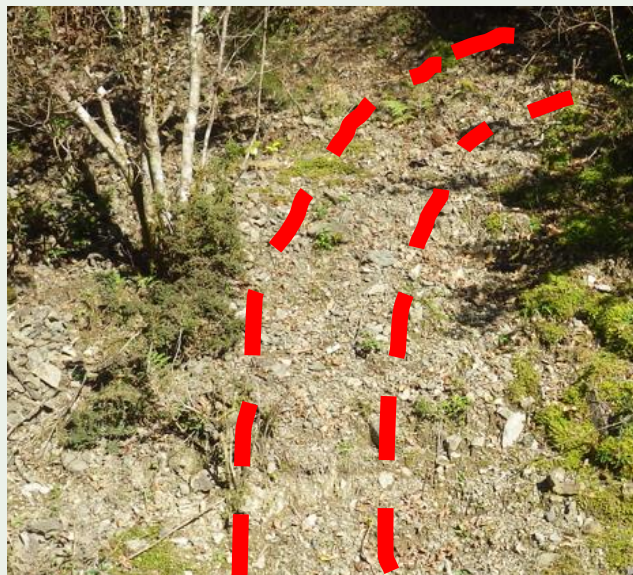


・獣道の幅が狭い場所
※置き場所を決めやすい

×くくり罠の設置に適していない場所



・イノシシの掘り返しの跡がある



・急斜面

※罠の露出や土砂で埋もれる恐れがある



・人が頻繁に利用する場所

※林道や歩道など



・水の通り道

※罠がすぐに露出する

※見通しが悪く、近づかないと罠が確認できない場所は捕獲個体に攻撃される恐れがあるため注意すること

--- 獣道 --- 水の通り道

5. 設置場所の参考例

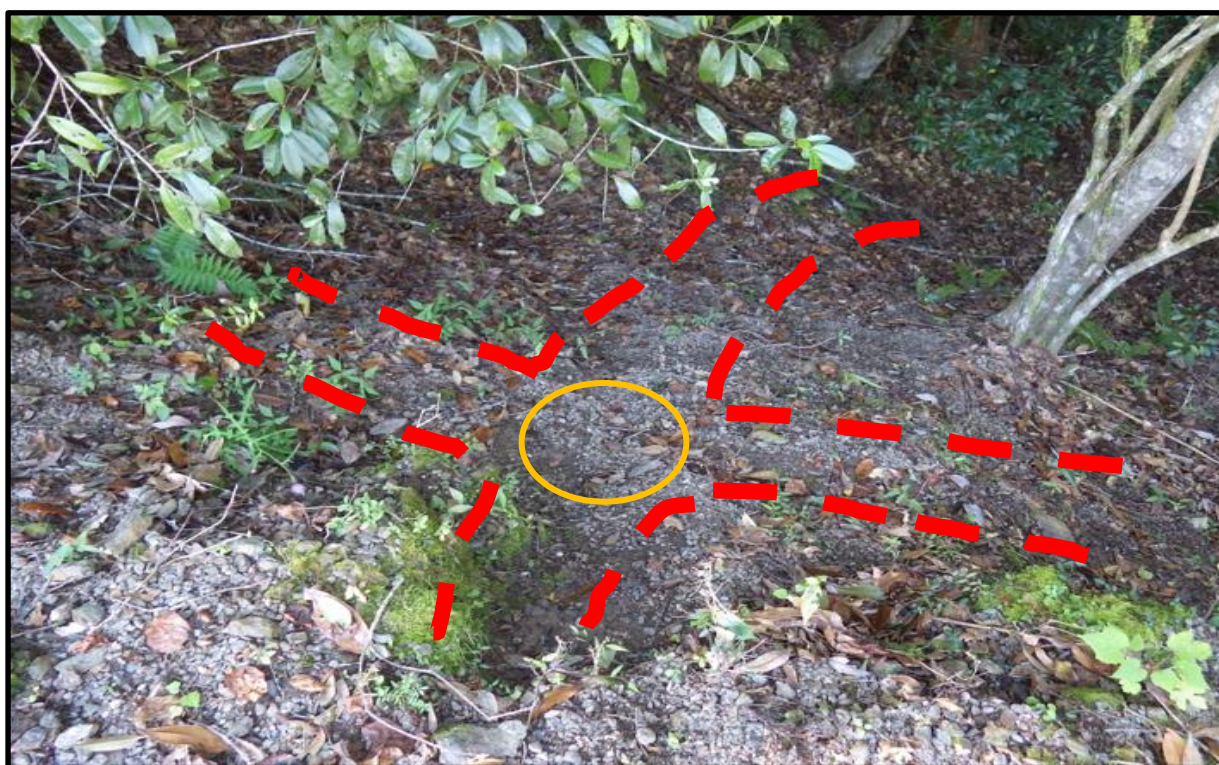
① 獣道の見付け方

※土が踏み固められ、植物がなくなっている



② 獣道の合流地点に仕掛ける

※木や障害物によって狭くなっていればなおよし



③ 安定して立てるくらいの斜面

※急斜面だと捕獲後の止めさしが危険



④ ワイヤーを繋ぐ木や木の根が近くにある



○ … 罠 - - - … 獣道

⑤ 段差がある場合は段差の下に仕掛ける

※体重がかかりやすく、空ハジキしにくい



⑥ 幅の広い獣道に設置する際は、罠の周りに石などの障害物を置いて通り道を制限する

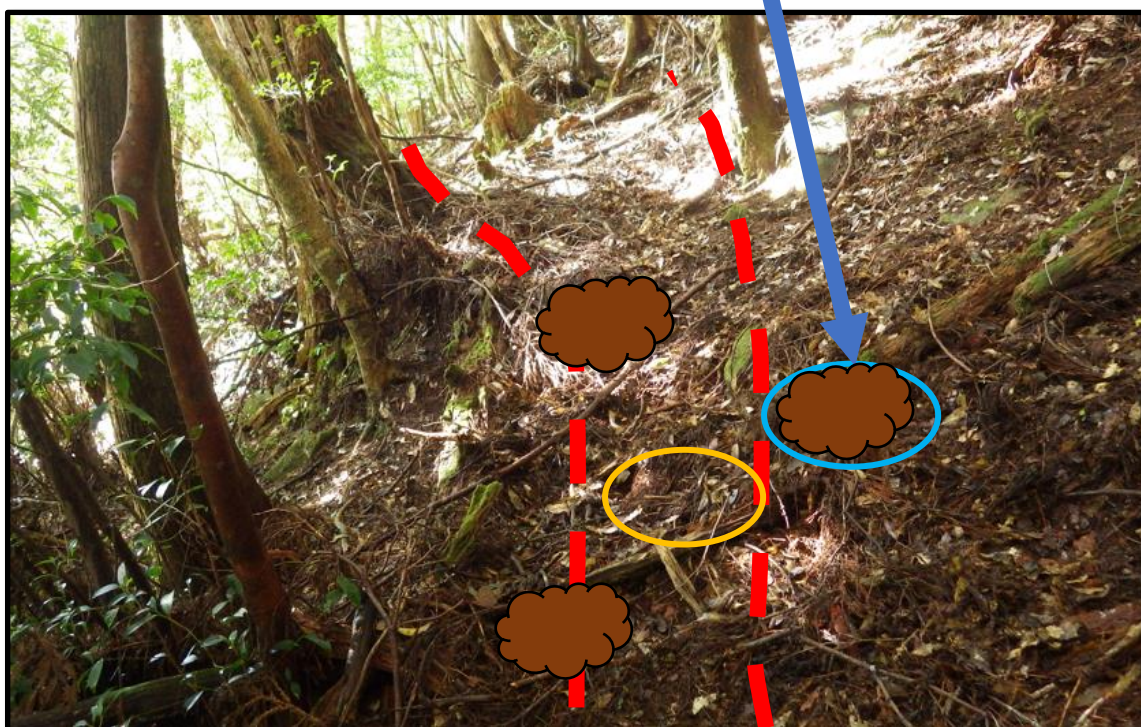


○ … 罠 - - - 獣道 — 重要

⑦シカの糞周辺に仕掛ける

※シカの糞はシカが生息している証拠

シカの糞周辺に仕掛けると罠にかかりやすい！



○ … 罠 - - - … 獣道 — … 重要

⑧シカの痕跡付近に仕掛ける



シカの採食痕



シカの糞



シカの足跡



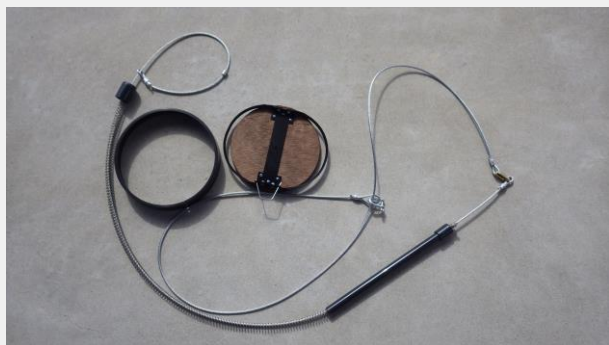
シカの足裏

※シカは引きちぎるように採食するため、食痕の断面は不揃い

6. 罾の仕掛け方（笠松式）

～現場に持っていくもの～

・くくり罾一式



・手袋



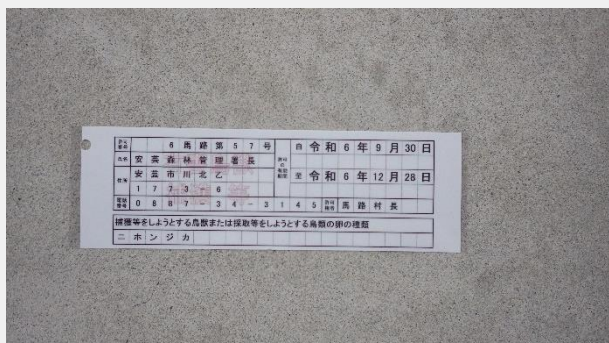
・虫よけスプレー



・鍬



・有害鳥獣捕獲許可用の標識



・長靴 ・保安帽

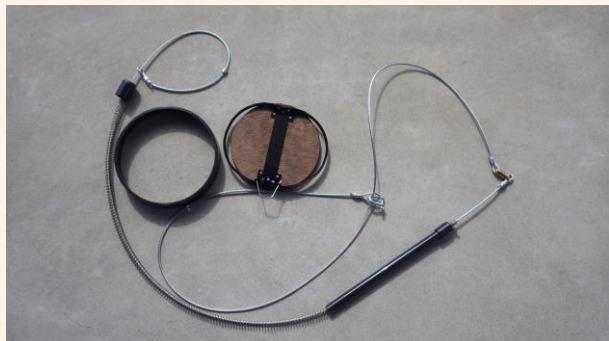


※標識は罾を仕掛けしているのがわかるように罾近くの木などに設置する

～罾の準備～

①罾一式を揃える

※2ページ参照



②踏み板に安全ピンを差し込む

※罾の誤作動を防ぐ



③ワイヤーを踏み板の溝に掛ける



④太い木にワイヤーをつなぐ



⑤ばねが全てパイプに入るまで引っ張る



⑥ねじを締めてばねを固定する。



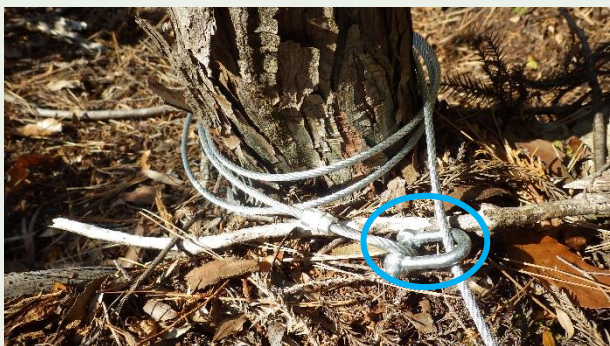
※罾の準備と設置場所の選定はどちらが先でも良い

～設置①～

①設置場所の選定



②丈夫そうな木にワイヤーをつなぐ
※1



③深さ5cmほどの穴を掘り、落としパイプを設置する。



④パイプを埋める溝を掘る



⑤踏み板を置く



⑥罨が作動しないように安全ピンを
そっと抜く



※1 青色丸のシャックルについて、湾曲した金属部分はワイヤー本線にあて、ネジ部分はワイヤー先端の輪を通す（シカがかかったときに暴れてネジが緩まるのを防ぐため）

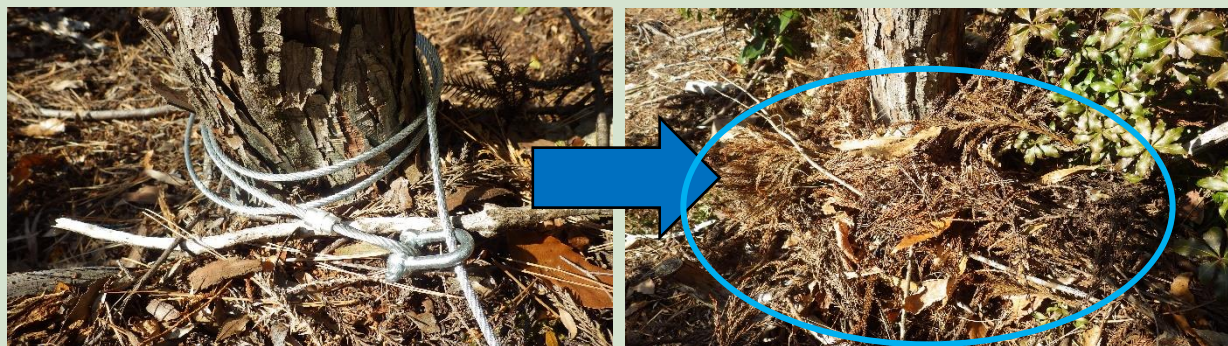
なお、シャックルをつなぐワイヤーの位置は、より戻し金具とパイプの間につながない（より戻し機能を発揮させるため）

～設置②～

- ⑦罾やパイプを落ち葉や土で隠す
※土や落ち葉をかけすぎないようにする



- ⑧ワイヤーを落ち葉や土で隠す



- ⑨罾を踏みやすくするために跨ぎ木や石を置く



例①

例②

○ … 罾 — … 重要

7. 罾を仕掛ける際のコツ 8 選

- ①小石や枝を踏み板部分にかぶせるとかかったときに挟まり、空ハジキ(罾が作動しても獲物がかかってない)する可能性が高くなるので、土で隠す。
また、空ハジキを防ぐために落ち葉で地面が完全に隠れないように注意する。



- ②罾を隠す際に周りの土や落ち葉を使うとシカが警戒するので、少し離れた場所のものを使う。その際、仕掛けた場所の土と似た色の土で隠しなじませる。



※獣道上の土はとらない。

- ③罾に土をかぶせすぎると動作が重くなり空ハジキしやすくなったり、雨が降った後に土の重さで作動したりするためあまり多くかぶせない。



※土の厚さは1～2cm程度を目安にする。

- ④ワイヤーは落ち葉などで隠すか、土の中に埋める。
このとき、風が吹いて、落ち葉が飛んでいかないように枝や石などで重しをする。



※罾やワイヤーが隠れていないと、光の反射でシカに気づかれてしまう恐れがあるので、完全に隠れるようにする。

○...罾 —...重要

⑤獣道上にワイヤーが通らないようにし、獣道はできるだけ歩かない。

※獣道上にワイヤーがあるとシカが踏んで罠が露出してしまう

⑥落としパイプの設置の際に、周りを固め罠が動かないようにして、地面と水平にする。

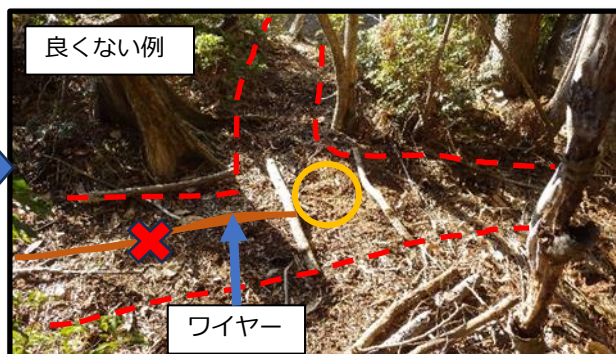
※水平にしないと違和感がでるのでシカに気づかれやすい

⑦跨ぎ木が転がり、移動するのを防ぐために枝を設置する。

※斜面に罠を設置すると跨ぎ木が転がるため、枝を使って防ぐ役目がある

⑧罠を置いた後に、シカが障害物を踏まないという習性を利用して罠の上下に石や跨ぎ木をおくとより効果的。

※周辺の木々の根を跨ぎ木代わりにしてもよい



○...罠 --- 獣道 --- 重要

※一度シカがかかった獣道は他のシカが通る可能性が高いので覚えておくとよい。

※**同じ場所に2週間程度かからなかったら場所を変える**（2週間を過ぎるとほとんどかからないため仕掛け続けても効率が悪い）。

なお、同じ獣道上の別の場所に足跡があれば罠を移動させ、なければ回収し別の獣道を探す。